

報道関係各位 企画展のご案内

高志の国文学館
KOSHINO-KEN
Museum of Literature

主催／高志の国文学館 共催／北日本新聞社、北日本放送
特別協力／吉海直人 向志社子大志、公益財団法人冷泉家時雨亭文庫
協力／嵯峨嵐山文筆館、瀧翠美術館、富山市立図書館

開館10周年記念企画展

百人一首

和歌と
美の世界展

2023年
3月19日(日)～
6月5日(月)

開館時間／9時30分～18時
(観覧受付は17時30分まで)
※3月19日(日)は10時40分に開場

休館日／毎週火曜日
3月22日(水)、5月12日(金)
※3月21日(火)・祝、5月9日(火)は開館

観覧料／一般500円(400円)、
大学生250円(200円)、
前売り・一般400円
(裏面をご覧ください)

※(一)内は20人以上の団体料金。企画展観覧券で常設展もご覧いただけます。
※次の方は、半額観覧・企画展ともに無料で観覧できます。小・中・高校生及び
これに準ずる方、各種障害者手帳をお持ちの方。

中央：道鏡法親王兼百人一首歌かるた(瀧翠美術館蔵)
右上：清原雪信画「百人一首」(嵯峨嵐山文筆館蔵) 部分



高志の国文学館 開館10周年

感動との出会い。

展覧会チラシ

広報に関するお問い合わせ：高志の国文学館 事業課 谷口・福澤・綿引
〒930-0095 富山県富山市舟橋南町 2-22 TEL 076-431-5492 / FAX 076-431-5490

Summary

恋の歌、四季の歌など、王朝文化の粋と美意識が凝縮された詞華集の世界へ

かるた遊びや古典教材などの形で、幅広い世代に親しまれてきた百人一首。そこに含まれる歌のいくつかは、一度は耳にしたり、声に出して読んでみたりしたことがあるのではないのでしょうか。近年では、競技かるたや、それを題材にした漫画・映画などを通じて百人一首にふれたという方も多いかもかもしれません。

本展では、これまでの研究成果をふまえつつ、時代を超えて読み継がれる百人一首の魅力と文化的な広がりについて、美術館、図書館、個人所蔵の貴重なコレクションを通じてご紹介します。歌仙絵、かるた、浮世絵など、百人一首の多彩な世界をお楽しみいただくとともに、日本人の繊細な自然感覚や美意識の源流である美しい和歌の世界をあらためてご鑑賞ください。

Profile

百人一首

飛鳥時代の天智天皇から鎌倉初期の順徳院まで、百人の歌人のすぐれた歌を、『古今和歌集』以下、十の勅撰集の中から一首ずつ選んだのが「百人一首」です。天皇、公家、女房、僧侶など、歌人はほぼ時代順に並べられており、平安時代の和歌、文学、歴史の流れをうかがうことができます。

藤原定家（1162～1241）の日記『明月記』文暦2年（1235）5月27日条に、「蓮生（宇都宮頼綱）の依頼により、山荘の障子用色紙として、古来の人の歌各一首を書き送った」という記事があること、「百人一首」と97首までが一致する『百人秀歌』の撰者が藤原定家である可能性が高いことなどから、「百人一首」の原型の成立に定家が関わったということまでは言えますが、独自の改訂部分を含む「百人一首」の成立時期や撰者については諸説あり、はっきりしたことはわからないというのが現状です。

室町時代の二条流歌道では、「百人一首」が和歌の入門書として活用されていました。江戸時代には、かるたのほか、女子用往来、浮世絵、川柳などさまざまな形で幅広い層に享受されました。明治時代になると、「競技かるた」が考案されて全国に広がり、現在に至るまでその人気は続いています。

Outline

展覧会名	開館 10 周年記念企画展・G7 教育大臣会合開催記念 「百人一首 一和歌と美の世界 展」
会 期	2023 年（令和 5 年）3 月 19 日（日）～6 月 5 日（月）
会 場	高志の国文学館 〒930-0095 富山県富山市舟橋南町 2-22
開館時間	9：30～18：00（観覧受付は 17：30 まで）
休 館 日	毎週火曜日、3 月 22 日（水）、5 月 12 日（金） ※ただし 3 月 21 日（火・祝）、5 月 9 日（火）は開館
観 覧 料	一般 500 円（400 円）、大学生 250 円（200 円）、前売り・一般 400 円 ※（ ）内は 20 人以上の団体料金。企画展観覧券で常設展もご覧いただけます。 ※小・中・高校生及びこれに準ずる方、各種障害者手帳をお持ちの方は無料。
主 催	高志の国文学館
共 催	北日本新聞社、北日本放送
特別協力	吉海直人氏（同志社女子大学）、公益財団法人冷泉家時雨亭文庫
展覧会担当	高志の国文学館 事業課 係長・学芸員 綿引香織（わたひきかおり）

Theme

第1章 百人一首の成立 —藤原定家と百人一首

百人一首の典拠となった勅撰集のほか、百人一首の草稿ともいわれる藤原定家の「百人秀歌」(重要文化財)、「明月記」などの資料を通じて、百人一首成立の謎にせまる。

◇百人一首 —その心を味わう

百人一首の一部の歌をとりあげ、かるたや写真などを織り交ぜつつ、百人一首の心をひもとく。

第2章 百人一首の興隆 —歌仙絵と書、かるたの美

歌人の肖像に和歌を添えた歌仙絵、本阿弥光悦や松花堂昭乗ら能筆家の書風による写本・版本、意匠を凝らした豪華なかるた、絵入版本など、百人一首の隆盛を示す資料を厳選して紹介する。

第3章 百人一首の広がり —浮世絵と異種百人一首

江戸時代以降、現在までつながる百人一首文化の広がりを、葛飾北斎、歌川豊国、歌川国芳らによる浮世絵や、すごろく、異種百人一首などの資料により紹介する。

Topics

- 1 重要文化財「百人秀歌」(鎌倉時代後期～室町時代前期写、公益財団法人冷泉家時雨亭文庫蔵)の期間限定公開 ※4月26日(水)～5月8日(月)
「百人秀歌」は、藤原定家が手がけたと見られる全101首の秀歌撰です。「百人一首」とは97首までが共通しながらも歌の配列は大きく異なり、その関係性が注目されてきました。百人一首の成立を考えるうえでも欠かせない重要な資料です。冷泉家時雨亭文庫本は、現存する「百人秀歌」の伝本のなかで最も書写年代が古く、資料的価値が高いものです。
- 2 貴重な資料でたどる、百人一首の興隆と広がり
百人一首かるたとして最古級に属するとも言われる「道勝法親王筆百人一首歌かるた」(滴翠美術館蔵)、狩野探幽に学んだ女性画家 清原雪信きよはらゆきのぶによる「百人一首画帖」(嵯峨嵐山文華館蔵)、松花堂昭乗(寛永の三筆の一人)の筆とも伝わる「百人一首」(個人蔵)、百人一首を題材にした浮世絵「小倉擬百人一首」(個人蔵)など、美術館、図書館、個人所蔵の貴重なコレクションを通じて、百人一首の魅力と文化的な広がりについてご紹介します。
- 3 写真パネルや映像などで味わう、百人一首の「心」
百人一首の和歌は、日本人の繊細な自然感覚や美意識の源流であるともいえます。自然、人生を切り口に18首を取りあげ、写真やかるたとともに和歌の世界をじっくりとご鑑賞いただけます。また、鎌倉時代以来の歌道の家として知られる冷泉家を紹介する映像コーナーも設置します。
- 4 記念講演や体験型イベントなど、多彩な関連行事を開催
百人一首研究をリードする吉海直人氏の記念講演、百人一首の斬新な現代語訳で注目を集める詩人の小池昌代氏の講演、競技かるたと伝統文化の体験など多彩なイベントを開催します。

Events

(1) 記念講演

[日 時] 3月19日(日) 14:00~15:30
 [演 題] 小さな百人一首の大きな力
 [講 師] 吉海直人氏(同志社女子大学特任教授)
 [会 場] 当館 研修室101
 ◎申込必要 ◎定員54名 ◎参加無料

(2) 講演

[日 時] 5月13日(土) 14:00~15:30
 [演 題] 歌から詩へ、物語へー「百人一首」という宝箱
 [講 師] 小池昌代氏(詩人、作家)
 [会 場] 当館 研修室101
 ◎申込必要 ◎定員54名 ◎参加無料

(3) 競技かるたを体験しよう

競技かるたの実演ののち、希望者による競技かるた体験会を実施します。
 [日 時] 4月29日(土・祝) 13:30~16:00
 [講 師] 中崎圭子氏(富山県立図書館館長)
 [協 力] 県立高岡高等学校競技かるた部
 [会 場] 当館 研修室101
 ◎申込必要 ◎定員20名 ◎参加無料

(4) 日本の伝統文化を体験しよう 百人一首の話とお茶会

百人一首についてのお話と呈茶席をお楽しみいただきます。
 [日 時] 5月3日(水・祝) 13:30~15:30
 [講師・協力] 当館学芸員、県立富山商業高等学校茶道部
 [会 場] 当館 研修室101
 ◎申込必要 ◎定員20名
 ◎参加費500円(当日会場受付にてお支払いください)

(5) 担当学芸員による展示解説(スライド・ビュー)

[日 時] 4月22日(土)、6月3日(土) 各回14:00~(30分程度)
 [会 場] 当館 研修室101
 ◎申込必要 ◎参加無料

■申込方法

電話・FAXにてイベント名(複数可)と氏名、電話番号を高志の国文学館までお知らせください。

※定員に達し次第、募集を終了します。

※FAXでのお申込で、定員に達してご参加いただけない場合のみ当館からご連絡いたします。

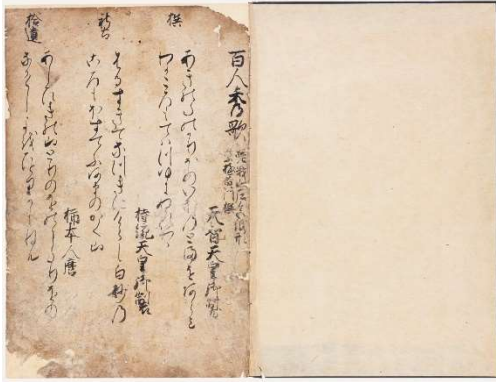
Highlight

■主な出品資料

- ・重要文化財「百人^{しゅうか}秀歌」 鎌倉後期～室町前期写 公益財団法人冷泉家時雨亭文庫蔵
※4/26（水）～5/8（月）の限定公開
- ・藤原定家撰「拾遺愚草」 江戸時代中期刊 富山市立図書館蔵
- ・伝松花堂昭乗筆「百人一首」 江戸時代 個人蔵
- ・「道勝^{どうしょうほつしんのう}法親王筆百人一首歌かるた」 江戸時代前期 滴翠美術館蔵
- ・「持明^{じみょういん}院基時卿色紙形百人一首歌かるた」 江戸時代前期 滴翠美術館蔵
- ・「蒔絵百人一首歌かるた」 江戸時代前期 滴翠美術館蔵
- ・「百人一首かるた」 江戸時代前期 嵯峨嵐山文華館蔵
- ・「法眼守俊筆板地百人一首歌かるた」 江戸時代後期 滴翠美術館蔵
- ・「櫛形三十六歌仙絵入り歌かるた」 江戸時代 滴翠美術館蔵
- ・清原^{ふきのぶ}雪信画「百人一首画帖」 江戸時代前期 嵯峨嵐山文華館蔵
- ・居初^{いそめ}つな画「三十六歌仙絵」 江戸時代前期～中期 個人蔵
- ・勝川春章画「錦百人一首あづま織」 安永4年（1775）刊 個人蔵
- ・三代歌川豊国画「小倉^{なぞらえ}擬百人一首」 江戸時代末期 個人蔵
- ・「百人一首廻利^{まわりすころく}壽語呂久」 江戸時代末期～明治時代頃 個人蔵

など 約80点

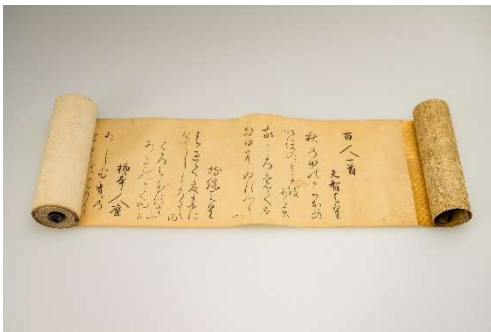
Images



1 重要文化財「百人秀歌」
(公益財団法人冷泉家時雨亭文庫蔵)



2 「道勝法親王筆百人一首歌かるた」(滴翠美術館蔵)



3 伝松花堂昭乗筆「百人一首」
(個人蔵)



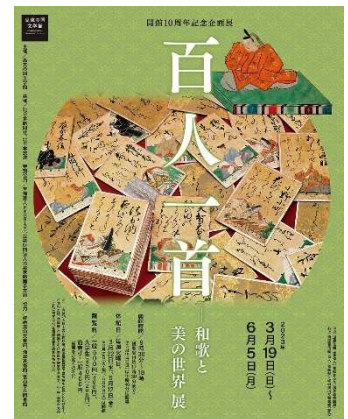
4 「時絵百人一首歌かるた」(滴翠美術館蔵)



5 清原雪信画「百人一首画帖」
(嵯峨嵐山文華館蔵)



6 三代歌川豊国画
「小倉擬百人一首」(個人蔵)



7 展覧会チラシ

感動との出会い。

開館 10 周年記念企画展・G7 教育大臣会合開催記念
「百人一首 一和歌と美の世界 展」
広報用画像貸出申請書

高志の国文学館事業課 広報担当 行
FAX 076-431-5490
E-mail akoshinokuni@pref.toyama.lg.jp

展覧会広報用の画像を貸出しております。ご希望の際は、下記の貸出条件をご確認のうえ、本書に必要事項をご記入いただき、FAX または E-mail にてお申込ください。E-mail の添付にて JPEG データで画像をお送りいたします。

【広報用画像貸出条件】

- ◎画像は展覧会紹介の目的のみにてご使用ください。
- ◎画像のトリミングや、画像に文字を重ねるレイアウトはお控えください。
- ◎画像データは、ご使用後かならず破棄してください。
- ◎画像データを第三者に渡すことを禁じます。
- ◎インターネット上へ掲載する際には、画像をコピーできないよう処置してください。

御社名 : _____

御担当者名 : _____

E-mail アドレス : _____

電話 : _____ FAX : _____

掲載誌名・番組名・Web サイト名 : _____

発行・放映・掲載予定日 : _____

申込画像（ご希望の画像をチェックしてください。）

- 画像 1 重要文化財「百人秀歌」（公益財団法人冷泉家時雨亭文庫蔵）
- 画像 2 「道勝法親王筆百人一首歌かるた」（滴翠美術館蔵）
- 画像 3 伝松花堂昭乗筆「百人一首」（個人蔵）
- 画像 4 「蒔絵百人一首歌かるた」（滴翠美術館蔵）
- 画像 5 清原雪信画「百人一首画帖」（嵯峨嵐山文華館蔵）
- 画像 6 三代歌川豊国画「小倉擬百人一首」（個人蔵）
- 画像 7 展覧会チラシ